

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇前年度までの重点目標「自己の変容を実感できる授業」に重点を置いた授業づくりを行った結果、札幌市共通指標「学習などについてのアンケート」「自分にはいいところがある(R5:82.2%→R6:85.6%→R7:88.5%)」「振り返りを通して自分の伸びや成長を感じる(R5:72.4%→R6:77.8%→R7:81.3%)」において、伸びが見られた。</p> <p>◇また、前年度の課題であった「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している(R5:75.5%→R6:77.4%→R7:78.6%)」においても、札幌市全体の平均に近づき、成果が見られ始めている。</p>	<p>◇札幌市共通指標「学習などについてのアンケート」において「自分の意見を進んで発言しようとしている(R5:65.0%→R6:69.3%→R7:67.9%)」「自分が思っていることや感じていることを人に伝えている(R5:66.1%→R6:75.1%→R7:71.0%)」の項目の数値が他の項目に比べて数値が低く、学校全体の実態を見ても、自分から伝えようとする主体性をさらに伸ばしていきたい。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査では、問題形式が「選択式」「短答式」であるもの正答率は全国平均よりも上回っているにもかかわらず、「記述式」である正答率は全国平均よりも大きく下回っており、また、空欄であった児童が多いことが分かった。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇自己承認・他者への承認・他者からの承認においては伸びが見られるため、引き続き心理的安全性の高い学校づくり・取組を続けていく。</p> <p>◇自ら学ぶ方法・人と学び合う方法において改善できる。特に自分の考えの発信において、自己選択・自己決定の場面や、進んで他者を求め、対話によって思考を再構築する場面を確保していく必要がある。今年度は、様々な教育活動を通して、子ども自身が考えを表現し、学び合うことのできる授業づくりや取組、場の設定や教師の価値付けを増やし、実践を行っていく。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

しなやかに学び合い 学びを深める

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 本校の目指す児童像「しなやかに学び 学びを深める子」を目指し、教職員が互いの授業案や授業自体の交流を行っていく。</p> <p>(2) 「学ぶ力」の育成に向けた課題探究的な学習を実践していく上で大切なAARサイクルの視点として示されている4つのセルフチェックに沿いながら授業づくりを行う。その際、今年度は協働探究の場面を見合うこととするが、AARのつながりを意識し、単元のまとまりまたはユニットや題材のつながりがわかるよう指導案などで示すこととする。</p>	<p>①異学年縦割りでのふれあい活動の充実 →話し合いや遊びなどの計画・活動 →グループ遊び、全校遊び、ふれあい給食などでの交流</p> <p>②よりよい学校にするための学級活動、児童会活動の充実 →計画や報告を大切にされた委員会活動や児童集会の実施 →全校朝会で児童が自分の頑張りや、互いのよさを伝え合い、認め合うコーナーを実施</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<p>◇授業中での考えを視覚化して共有したり、操作性のある教材を使用し試行錯誤したりすることができる場面を積極的に設定していくことができるよう、各ツールを児童が使用できる環境を整備する。(ICT担当教諭)</p> <p>◇児童の学びの場面に効果的に活かすことができるよう、まずは教職員のICTへの理解や技能を高めていく。そのために、情報を教職員全体へと発信を行ったり、研修の設定を行ったりしていくとともに、生成AIの活用についても研修を行っていく。(学び部)</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

